

手術室運営委員会

委員長代行 杉本 健太郎

手術室運営委員会の概要

手術室運営委員会は手術を安全かつ円滑に遂行し、手術の質と効率を高めることを目的として、毎月1回の予定で開催しています。

委員のメンバーは各診療科の責任者と看護師、臨床工学技士で構成されています。

2024年の主な検討事項、手術室での実施事項

■2月

- ・4月以降の麻酔枠について、火曜日に乳腺外科の枠を新設することを確認した。
- ・原則、17時以降は予定症例を実施しないことを確認した。
- ・手術の同意書に、手術の状況により手術日が変更となる可能性がある旨を全例説明することとした。

■3月

- ・手術患者に対し手術当日に実施しているCOVID-19検査は4/1以降実施しないこととした。

■4月

- ・手術室と関連するセンターの新設に伴い、4月より杉本乳腺センター長および濱田消化器外科センター長が委員として参加することになった。
- ・ドパミン製剤またはインスリンを服用している患者の、手術開始時間と服用の対応について確認した。

■7月

- ・ROOM8、11の映像機器更新にあたり、各部屋メインで使用する診療科にて、術野カメラを候補の3機種の中から選定することとした。
- ・低温プラズマ滅菌システムの更新予定について報告があった。

■9月

- ・糖尿病・内分泌代謝内科および薬剤部より、SGLT2阻害薬の休薬について提案があり、関連学会の推奨に即して手術前3日間休薬することとなった。
- ・外来患者のSGLT2阻害薬を使用している患者の術前休薬は、入退院センターで薬剤師がフォローすることとした。
- ・外科用イメージについて、現在所有している装置が老朽化により故障が続いており、手術予定に支障が出ていること、装置の更新を検討していることについて整形外科、施設用度課より報告があった。

■11月

- ・手術枠について、木曜日に乳腺外科を追加することを確認した。
- ・薬剤棟（仮称）建築にあたり、手術準備室が工事エリアに該当するため、一時的に物品倉庫および前室の位置に移設することについて施設設備課より報告があった。

■12月

- ・病理診断科の体制について、近森相談役兼病理診断科統括部長より説明があった。

これからも手術手技・機器および設備関連の進歩と安全に配慮し、更なる手術件数の増加を目指して、手術室関連の管理およびスタッフの配置・教育等に必要な検討を進めていきます。引き続き関係各位のご協力を宜しくお願い致します。

